



世界に希望を生み出そう

広島東南ロータリークラブ 2024年3月25日（第2910回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 柄 博治 幹事 山仲 巖

3月は「水と衛生月間」です。

3月ロータリーレート 151円



本日の例会

- 18:30 点 鐘
ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」
来客紹介 (親睦委員会)
会長時間 (柄 会長)
幹事報告 (山仲幹事)
委員会報告・同好会報告・S.A.A
点 鐘

会長時間

幹事報告

～新入会員歓迎会～

- 18:45 開会 司会: 國司会員
開会挨拶 (柄 会長)
乾杯 (大井副会長)
食事歓談
イベント
閉会挨拶 (河野副会長)
20:30 ロータリーソング「手に手つないで」

本日のプログラム

「新入会員歓迎夜間例会・懇親会」 親睦担当

次回例会（4月1日）

「会員卓話」 要田昭治会員・久保和浩会員

お知らせ



IMのお礼で
嶋本文雄ガバナー
補佐が例会訪問
されました

今後の予定

○ロータリークラブ親善野球大会 ガバナー杯親善試合

と き 4月13日（土）

ところ マツダスタジアム

（対戦相手：広島西南RC）

○職場訪問例会

と き 4月22日（月）

ところ TOHOBEADS広島工場

11:30 バスにて移動（集合@ANA）

12:30 例会・昼食・工場の説明等

13:00 工場見学・トーホー記念館見学

14:00 現地出発

15:00 ANA到着・解散

○広島14RC合同懇親ゴルフ大会

と き 4月29日（月・祝）

ところ 広島カンツリー倶楽部 西条コース

★第2710地区 ローターアクト奉仕デー

と き 4月29日（月・祝）

ところ マツダスタジアム

★はメイクアップ対象事業です

他クラブ例会変更・休会情報 （受付12:00～12:30）

- 3/26（火） 広島安芸（グランヴィア）
広島西南（ANA）
3/29（金） 広島城南（シェラトン）
4/ 1（月） 広島廿日市（サンプラザ）
4/ 3（水） 広島陵北（リーガ）
4/ 4（木） 広島安佐（リーガ）
4/ 5（金） 広島南（リーガ）
4/17（水） 広島東（グランヴィア）
4/18（木） 広島安佐（リーガ）
4/25（木） 広島安佐（リーガ）



私は、広島国際学院高校の昨年から総監督しております瀬越と申します。今日はよろしくお願いいたします。

私は、先ほどご紹介いただきましたように舟入高校卒業しまして、1989年日本体育大学を卒業しました。現在の広島国際学院高校で35年間ずっとサッカーに携わってきて育成をしてまいりました。本クラブが今年70周年ですけども、平成を突っ走りまして令和6年現在まで35年間指導してまいりました。そして今年、念願の全国大会に出場することができました。夏の高校総体、それから冬の全国高校サッカー選手権大会初出場で全国ベスト16を取ることができました。2回戦早稲田実業2対0、3回戦は静岡の強豪、静岡学園にPK勝ちをして、全国のサッカー関係者はあっと驚いたという結果を生み出しました。4回戦は優勝チームの青森山田高校で、もうそこまで頑張れる力が残ってなくコテンパンにやられました。前半まで0対1で負けていましたが、なぜかハーフタイムに向こうの監督が激を飛ばしたようで、後半6点を取られました。

テレビでご視聴いただいた方もいらっしゃると思いますが、非常にいい大会で私自身ほんとに楽しかったです。今までは、この大会に出ることを目標に頑張っていたのですが、次からはまた出場して勝ち上がっていきたいという新たな目標ができた素晴らしい大会でした。

私が、平成元年に入った時はサッカー部員が8名でした。今年の部員は125名います。当初は、本当にどのチームにも相手にされませんでした。全然知らない中から、私が大事にしてきたことは、人のつながりをとにかく大事にし、とにかくいろんな方の話を聞きに行きました。その中でだんだんと人の輪を作っていき、それが今回全国に出ささせていただいた一番の要因です。とにかく強いところに食い付くしかなかった時代をずっと過ごしてきました。

我々の国際学院のサッカー部の指導はどうであるのかっていうことを挙げていきます。中学校年代で本当に優秀な選手は、他県の強豪校に逃げていきます。それから現在、高校の中で有名と言われている広島皆実高校さんは体育科があり選手が入ってきます。また瀬戸内高校さんは、立派な寮を持たれていて他県から優秀な選手を獲得してこられます。我々は、寮もないので他県から選手が入れない、私学なので一般的にはお金が掛かるとされています。そういう中で我々に来る選手は、すべて学校に自転車かJRで通える選手を集めて指導しています。つまり、もう育てていくしか勝つ方法がありません。それでは育てるために何が必要になってくるかっていうと、もちろんある程度の選手の人材が必要になってきます。それからスタッフの人材も非常に大事になってきます。そういう選手たちを抑えるスタッフにどういうふうに指導方法を落とし込んでいくか、サッカーの指導を勉強してもらうのかということは、大きなことです。そして環境の整備です。我々も5年前にグラウンドが人工芝になって、その中で選手を育成しています。この環境の変化も我々が今勝つことが出来るようになった大きな要因の1つになっています。それから、行きたいと思われる学校であること、つまり選手にとって毎日が楽しいと思われる学校であるのかということ、これは我々だけではなく、学校の教職員がそういうふうな学校にできるのかということが大事になってきます。そして、出口を確保することです。高校でサッカーを一生懸命して行く大学(出口)を確保していくことも大事になってきます。

生徒が現在1300人いますが、スポーツで県大会の決勝なんか行くと、みんな1300人が同じベクトルを向いてくれます。買ってほしいというベクトル。ところが、クラス単位、学年単位、いえ、クラブ単位になると、ベクトルは別々のところになります。スポーツの力は凄くて、同じベクトルを向いて全員一致して応援してくれます。それがスポーツのいいところでもあります。

選手を育成するとはどういうことかなんですが、育てるためにはトライさせることと、トライすることによって起こるエラーがあります。必ずトライしたらエラーが発生します。そのエラーをどう改善していくのかということに我々は着目しています。失敗をして怒ることは回答を出すことなので、それはしないように指導しています。とにかくやらせてみて失敗をし、そしてそれをどう改善していくのかを考えさせます。スタッフ、監督が怒って、選手は監督やスタッフの目を気にしながらこう動くようになります。実際、私も日本体育大学卒業なので、昔はそういう中で育ってきました。とにかく怒られて、ある時は叩かれもしながらもサッカーしてきた時代もありますが今はそうではありません。おこることは、もう選手に答えを出してこうしなさいと言っていることと同じです。そしたらそれをやることに選手は集中します。だから、何が悪くてそれをしているのかを分かってないままプレーをして選手は考えなくなります。とにかくアイデアを出させて、監督の言う通りにするのではなくて、自分で考えて行動させることです。ただ、サッカーは そもそも答えがありません。物凄く長いシュートがゴールに吸い込まれた時、監督はその瞬間、打つなよと思っても、ゴールした時にはもう素晴らしいシュートになります。つまり、答えがないのです。常に進化をしているわけですから、それに対して怒ったらもう監督の駒だけであって、アイデアがないチームになっていきます。それは絶対に避けようということでスタッフでは話をしています。

皮膚感覚で 感じているのは現場において試合をしているのは選手で、監督はベンチで立って見ただけです。ですから監督が偉そうにベンチに座って待っていて、選手に対してガツンと言うのではなく、まず前半戦は前半戦を戦った選手にミーティングをさせます。サッカーは11人のスポーツなので、11の意見が出てきます。そこにコミュニケーションが生まれてきます。そのコミュニケーションを近年は大事にしています。そうすると、コミュニケーションがあるとゲームの中で話を始めます。そうすると、ゲームの中でうまくいかなかったことを解決する能力が生まれてきます。そして、自分たちの意見の中から解決策を模索させます。そして、選手自身がチームを作り上げたことを感じるようになってきます。我々自身がチームを、我々のチームを強くしという気持ちが出てくると、自己責任感と達成感と満足感が出てきます。その繰り返しによりいいチームを作り上げていきます。これがトライアンドエラーです。

そしてもう1つはトライアンドサクセスです。トライしたら成功することたくさんあります。成功をどういうふうに習慣化していくのかというと、スタッフにいいプレーはとにかく褒めろと言っています。必ずいいプレーは褒めて、成功が連続したから当たり前であっても、その当たり前でも褒めるように指導しています。この年になってもまだ褒められたら嬉しいものです。その感覚を子供たちにも味わわせてやれということで、トライアンドサクセスです。

それでは指導者は、上に立つ人間として何をしていくのかというと、まずコーディネーションです。選手から 出てきた意見をコーディネートしてトレーニングを作り上げることです。そして2番目に、

モチベーターです。いいプレーは褒めてとことん繰り返してやらせていくことです。そして映像で相手を分析していくのが、指導者として必ず必要なことです。

年を取れば取るほど、なんとなく結論が見えてくる シーンもありますが、それをあえて黙ってやらせることです。失敗しても絶対に怒ってはダメだということがあります。我々は、35年間、15歳から18歳同じ年代の人を扱ってきました。全く35年前の生徒と今の生徒は違います。何が違うっていうと、情報を取り入れる量が違います。パソコンとかスマホとかでいろんな情報を取り入れてきます。サッカーのこともyoutubeで映像を見て、こういうプレーがいいとか、どここの監督はこういう考えを持っているとか、いろんな外野からの情報を持ってきます。それを我々はまとめていかないといけません。それは間違いだよって最初から言ってしまうと、もう選手は耳をこっちに傾けてくれません。それをうまく取り入れながら、我々の思いをどう伝えていくのかっていうことが今は本当に難しいことです。つまりどういうことかと言うと、選択肢が子供達の中に凄く広がっています。よく言われますが、いい監督だよと思われるのは、僕を使ってくれる監督です。使ってくれない監督はあんまりいい監督じゃないと思われてしまいます。それは私も選手時代にそう思っていました。だから、意図して練習試合は調子が良くない選手も使ってみる、そういうこともしていきます。そういうところは、我々もほんとストレスが溜まりますが、そういう中からもう選手を育てていきますが、子供たちはいろいろな考えを持って、いろいろな中でサッカーをしています。我々は125人を同じベクトル、同じ方向に向けないとチームは作れていきません。中に、少しでも船底に穴開けて、ちょっとでも進むのを遅らせるような選手がいた場合には、非常に困りますけども、それを見捨てるわけにもいかないので、それをどういうふうに持っていくのをスタッフにいろんな話をしてもらいながら進めているのが現状です。いかにこちらが変わっていくのか、こちらが変わっていかないと 相手もこちらを向いてくれないということをこの数年間感じています。こうしてコツコツ 育てることにフォーカスを置いていくことで、子供たちが自然に成長して全国大会を勝ち取ったと考えています。その手助けとして大人の意見を少しだけスパイスとして入れていくことがよかったと思います。

私は、一昨年、広島県大会選手権 の決勝戦で皆実高校に延長PK戦で負けて、準優勝という結果で終わり監督は若い人に任せました。監督を変えようと思ったのは、この 選手権を取った子どもたちが2年の時に、6人ほどピッチに立たしていました。この2年生が3年生になった時には、絶対に勝てると思いました。代わって渡す時は、一番いい時に渡そうと思いました。なぜかという、悪い時期に渡すと次の監督は元に戻すことに力を注ぎます。そうではなくて 良い時期に渡して、新しいスパイスをまた入れてより良くするための力をチームに注いでくれたらいいなと思って交代しました。それが、見事に当たりました。我々のチーム創部から70周年、いろいろなことがありましたが、今が1番良い時と言われますが、そうではなくて本当に難しいことですが私自身は連覇をして、次も全国に立つことを目標に頑張っております。また皆さんの前に立つ機会がありましたら、お声を掛けていただければと思います。今日はありがとうございました。





マルチプルポールハリスフェロー認証
君島龍輝、谷井 智 各会員



ポールハリスフェロー認証
田中 貴、若宮奈美江、佐柳和憲 各会員



←第2回米山功労者マルチプル
上田康博、富部秀司 各会員

3月18日 累計902,000円（本例会 15,000円）

ニコニコ箱
ペコペコ箱

○嶋本文雄ガバナー補佐:例会訪問に際して(5口)

○天野國幹:1ヶ月4大陸初めてファーストクラスで遊行してきました。

スカイメディカルジャパンが日経新聞に載りました。(5口)

○田中 貴:今月の麻雀同好会の例会で優勝しました。先月の例会では三宅さんに続き準優勝。今回は僅差の優勝です。同好会の例会には60歳以下の若手が少ないので、僕が頑張らないといけません。今後ともよろしくお願いします。(1口)→とばっち三宅正光(1口)

○佐々木 誠:昨日ガバナー杯の野球大会の試合でしたが、生憎の雨で中止となってしまいました。試合直前の中止で応援に来ていただいたお二人に申し訳なかったのですが、感謝です。(1口)

○谷井 智:妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。(1口)

○中村伸弘:75年余生きてきて、エレベーターで間違ったキーを押した時、ダブルクリックすれば解決できることを知りました。(1口)



次年度第1回クラブアッセンブリー開催

報告:次年度副幹事 國司 晃

先日3月18日(月)、ANAクラウンプラザホテルに置いて、次年度(2024-25年度)第1回クラブアッセンブリーが、理事役員、各委員会正副リーダー32名ご出席のもと、開催されました。ステファニー・A・アーチック次年度RI会長の会長テーマと、上田文雄ガバナーエレクト地区運営方針についての説明がなされた後、田上会長エレクトより次年度会長方針「語ろうロータリーを語ろう全会員で」の説明がありました。

次年度のインフォーマルミーティングは、クラブ会員間での語らいを多く持つために、本来の姿に戻し、各委員会毎の開催される事になります。その開催日程も本会議で決定され、事業計画の策定を進めることを確認しました。

クラブ創立65周年の節目となる次年度に向けて良いスタートができるよう、出席者全員で一致団結し和気藹々とした雰囲気の中、閉会となりました。



4月は「環境月間」です

日付	例会・プログラム	クラブ行事他	委員会活動	同好会
1-	1/ 第2911回例会 「会員卓話」 要田昭治会員 久保和浩会員	1/ 定例理事役員会	1/ 100万ドル食事	
10-	8/ 第2912回例会 「新入会員卓話」 田尾直也会員	8/ 次年度理事役員会		
20-	15/ 第2913回例会 「演題未定」 似島学園 園長			
	22/ 第2914回例会 「職場訪問例会」 職業奉仕・経営研究担当	21/ 地区研修・協議会 広島国際会議場 グランヴィア広島		
31-	29/ 休会（昭和の日）	29/ 在広合同ゴルフ大会	29/ ローターアクト 奉仕デー マツダスタジアム	29/ ゴルフ